

一般質問・質疑

六月十五日、十八日、十九日の本会議では、十九人の議員が質問に立ち、あかし教育会議や明石川の水質保全などについて市の見解を求めました。

なお、発言者と質問項目の一覧は下段に、主な内容は二面から四面に掲載しています。

発言者一覧

—発言順— () は会派名

新田正彦(次世代明石)

①あかし教育会議の設置 ②教育委員会の活性化
宮坂祐太(民主連合)

①景観法に基づく景観行政団体への移行
辻本達也(日本共産党)

①大阪都への参加 ②弁護士資格を持った職員の採用 ③職員数と人事 ④あかし教育会議 ⑤学校施設及び幼稚園・保育所等の耐震改修 ⑥地域自治権による新たな条例の制定

辰巳浩司(政和会)

①中心市街地活性化に関する具体的な取り組み
②明石市耐震改修促進計画 ③こども未来部の取り組み

尾倉あき子(公明党)

①乳幼児等医療費助成制度(通院)を中学3年生まで無料化拡大を ②本市の水道水源である明石川の水質保全 ③人工呼吸器を使用する在宅患者の災害時の対応

寺井吉広(真誠会)

①インフラの老朽化対策と今後の計画 ②エネルギー政策 ③東日本大震災の復興支援 ④空き家対策

永井俊作(市民クラブ)

①広報あかしのあり方 ②明石駅前南地区市街地再開発事業の抜本的見直し ③「明石市を大阪都の飛び地に」の発言 ④あかし教育会議の設置及び教育の機会均等

中西礼皇(次世代明石)

①人事交流による職員のレベルアップ ②行政改革の取り組み ③市立図書館及び学校図書館の充実

富田賢治(民主連合)

①毎日新聞(4月15日朝刊)の市長発言 ②被災地の災害廃棄物処理の受け入れ

西川あゆみ(日本共産党)

①放課後児童クラブの充実 ②中学校給食 ③ごみ減量化の推進

樽谷彰人(政和会)

①明石市土地開発公社 ②建設工事にかかる一般競争入札 ③市長が実施した部長等に求めたアンケート ④泉市長の市政運営、言動と行動

松井久美子(公明党)

①明石市の防災・減災ニューディール(新規まき直し) ②あかし教育会議のあり方と今後の展開 ③今年3月から4月にかけて行われたまちづくり市民意識調査 ④明石市の胃がん検診にピロリ菌検診の導入を

遠藤恒司(市民クラブ)

①副市長人事 ②幸福度日本一達成への布石は ③本市の重要事業 ④幼保一元化 ⑤生活保護事業 ⑥中学校給食実施

木下康子(次世代明石)

①住民投票 ②弁護士資格を有する職員の弁護士会登録会費の公費負担 ③市立幼稚園における預かり保育 ④認知症高齢者の財産・金銭管理 ⑤空き家対策

楠本美紀(日本共産党)

①中心市街地活性化基本計画と明石駅前南地区再開発事業 ②広報あかし

井藤圭湊(政和会)

①気仙沼市への防災支援と防災施策によるまちづくり ②明石のにぎわいのあるまちづくり ③明石の教育の展望 ④トライやるウィーク

国出拓志(公明党)

①二輪消防車の導入 ②葬祭事業 ③自治会施設である公民館や会館等の耐震化促進 ④通学路の安全対策 ⑤市庁舎のバリアフリー化

北川貴則(市民クラブ)

①2012明石のウミガメ ②財政状況 ③保育所待機児童ゼロ策 ④その後の(通称)犬のフン害防止条例の取り組み ⑤日本一安全なまち明石の実現のための危機管理 ⑥その後の中学校のクラブ活動支援 ⑦弁護士会費の公費負担と(仮称)法律専門チーム

千住啓介(日本創新党明石)

①本市の道徳教育 ②子どもの安全な環境整備 ③東日本大震災において発生した災害廃棄物の広域処理 ④幸福度日本一を掲げた明石市長としての価値観

水道水の安全は確保

明石川の水質保全に向け

神戸市と対策を協議

問 明石川上流の神戸市

にある産業廃棄物最終処分場から浸出水が流れ出ている。明石川は本市の水道水源であるため、神戸市に対策を講じるよう申し入れを行ったとの報道があったが、明石の水道水は大丈夫か。明石川の水質保全について聞く。

答 本市の水道は、処理

過程で有機物を分解除去する高度浄水処理や危険性のある原水は取水しないよう常時監視を行うことなどにより、安全・安心で良質な水道水を市民に届けている。しかし、将来的に産業廃棄物処分場の増加などで明石川の水質



高度浄水処理で安全(明石川浄水場)

悪化が進むと、必要な取水量が確保できなくなる恐れもあるため、規制や指導などを行う神戸市と協議を行っているところだ。今後明石川の安全性の確保に努めていく。

砂場は子どもの

大事な遊び場

衛生面の対策は

問 市内十カ所の公園の

砂場をサンプル調査として検査したところ、二カ所で回虫卵の反応が出た。子どもの安全のため早急な対策が必要ではないか。

答 汚染された二

カ所の砂は入れ替える予定で、今後は市内すべての砂場についても検査を行っていききたい。汚染が確認された場合は、砂を高温で熱することやオゾン水等を散布して滅菌する方法、ネットで覆うことやフェンスで囲う方法が考えられるが、近隣市町の対策状況や費用対効果を考え、適切な対策を検討する。最善策は手洗いやうがいの励行であるため、砂を口に入れないことや砂遊びの後には手を洗う等の注意を喚起する看板を砂場周辺に設置し、子どもが安全に遊べるよう努める。



遊んだら手洗いうがい

災害廃棄物の受け入れ

可能な限り支援をしたいが

市民の安全が最優先

問 東日本大震災から一

年以上が経過したが、今も被災地では災害廃棄物の処理に苦慮する状態が続いている。このため処理能力がある全国の自治体による広域的な協力が欠かせないと考える。本市の災害廃棄物受け入れに対する考えを聞く。

答 被災地では多量の廃

棄物が処理されておらず、本市としても可能な限り支援をしたいと考えている。受け入れに対するさまざまな考え方があの中で、国が定めた基準や移送保管方法等の安全性の確認を進めている。また、関西広域連合が大阪湾広域臨海環境整備センターに要請している焼却灰



いまだに処理が進まない

の海面埋め立て処理の安全性の確認なども支援に向けた検討項目の一つと考えている。これからも市民の安全を最優先に検討していく。

職員の弁護士会費

市が負担するのは

適切なものか

問 任期付職員として採

用した五名の弁護士の弁護士会費は個人で負担すべきと考えるが、なぜ市が負担するのか。

答 任期付職員弁護士が行う業務の一つである市民法律相談を行うためには、弁護士法第七十二条により弁護士資

格が必要とされているため、強制加入団体である弁護士会に登録する必要はある。また、市職員は公務に専念する義務があり、任期付職員弁護士は他の弁護士業務を行えない。従ってその間の弁護士会費は公務を行うためだけの費用と考えるので、公費負担することは適切である。

なお、市の財政状況が厳しいことや任期付職員弁護士は公益的な

5月1日号の広報あかし

議員は市長の私物化を指摘

市民の反応はいかに

問 広報あかし五月一日

号は、市長自身の宣伝のために広報紙を利用して思われる。また三月

議会で広報あかしの増

ページ、カラー化のための予算を減額したにもかかわらず、カラー化が実施されているが、

議会の議決をどのよう

に認識しているのか。五月一日号の特集については、本市の教育改革に力を入れるために企画したものだ。市民からは評価する意見がある一方で、議員が指摘するようない意見もあるところだ。

カラー化については、

議会の意見を重く受け止めているが、印刷費用は二色刷りとほとんど差がなく、減額された予算の範囲内でも十分対応できることから、見やすさ、分かりやすさという観点に立ち、実施したものである。

生活保護の

不正受給を防げ

実態調査の強化へ

問 生活保護の不正受給

が社会問題となっており、積極的に実態調査を行い、指導していく必要があると思うが、市の考えを聞く。

答 本年五月現在の被保

護世帯数は三千九百五十一世帯、人数は五千八百七十六人で、市民百人当たり二人が受給者という状況だ。不正

受給対策については、受給者に対し収入申告義務の周知徹底を図るとともに、毎年収入状況調査を実施し、ケースワーカーの家庭訪問による調査活動の強化にも努めている。さらに今年度は生活実態の把握のため、民生委員との連携の強化や就労支援のための相談員を一名増員するなど、体制の整備も図っている。

今後とも国の制度改正の動向に留意しながら、適正な制度運営に努めていく。